

# 企業局 マネジメント方針

企業局では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定めました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和4年4月1日

企業管理者  
前田 和 宏



上下水道経営部長  
向井 成人



上下水道事業部長  
海道 克也



## 【基本方針】

企業局では、市民生活に欠かせない重要なライフラインである水道事業と下水道事業を一体的に行うことにより、体制の強化と経営の効率化を図り、安全で安心な上下水道サービスを将来にわたり安定的、かつ持続的に提供します。

近年、大規模な地震・津波や気候変動による災害が多発しており、上下水道施設が被災した場合には、広範囲にわたり長期間断水が発生する、下水道が使用できない等、市民生活に重大な支障をきたす恐れがあるため、施設の耐震化が急務となっています。また、人口減少や節水機器の普及等により料金・使用料収益が減少する中、年々増加する老朽施設の更新も計画的に進める必要があります。さらには、浸水被害低減のための事業も必要不可欠です。

水道事業においては、令和2年3月に策定した「福井市水道事業ビジョン2020」（令和2～10年度）に基づき、基幹管路や施設の耐震化を優先的に進めます。

簡易水道事業においては、令和4年3月に策定した「福井市簡易水道事業経営戦略」（令和4～13年度）に基づき、施設の統合や老朽化対策を進めます。

下水道事業においては、令和4年3月に改定した「福井市下水道事業経営戦略」（平成29～令和8年度）に基づき、汚水処理未普及地区の解消や浸水被害の低減を目指した事業を重点的に進めます。

3事業とも引き続き健全経営に努め、施設の更新をはじめとした各種施策を進めるとともに、万一の災害発生時にも迅速に対応できるよう、関係団体等と連携し、危機管理体制の強化に努めます。

## 【組織目標】

- I. 上下水道事業の一層の健全経営に努めます
- II. 安全でおいしい水を安定供給します
- III. 安全で快適な下水道サービスを提供します
- IV. 災害時に速やかに対応できるよう、危機管理能力の向上に取り組みます

## 【行動目標】

組織目標 I 上下水道事業の一層の健全経営に努めます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>1 上下水道事業の安定経営</b> 上下水道の安全で安定したサービスを継続するため、福井市水道事業ビジョン2020及び福井市下水道事業経営戦略に基づき、経営基盤の強化に取り組めます。</p> <div data-bbox="248 600 1246 714" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>経常収支比率(水道) (※1) : 120%以上 経費回収率(下水道) (※2) : 100%以上</p></div> <p>※1 経常収支比率(水道) (経常収益/経常費用×100) 令和3年度見込み 4,813,008千円/3,941,706千円×100≒122.1% 令和4年度目標 5,228,761千円/4,165,845千円×100≒125.5%</p> <p>※2 経費回収率(下水道) (下水道使用料収入/汚水処理費×100) 令和3年度見込み 4,247,920千円/3,809,663千円×100≒111.5% 令和4年度目標 4,202,970千円/3,805,560千円×100≒110.4%</p> <div data-bbox="319 1093 678 1361"></div> <p>水道事業ビジョン策定委員会の様子</p> <div data-bbox="769 1099 1233 1361"></div> <p>下水道経営戦略策定審議委員会の様子</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 



組織目標Ⅱ 安全でおいしい水を安定供給します

行動目標	SDGs 指標												
<p><b>4 基幹管路の耐震化</b></p> <p>「福井市水道事業ビジョン 2020」で理想像として掲げた「災害に強い水道」を実現し、地震時においても安全でおいしい水を安定して供給するため、重要給水施設配水管路等の重要な基幹管路（※1）の耐震化を計画的に進めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑬ 基幹管路の耐震管率(※2) : 37.5% (3年度) → 39.6% (4年度)</p> </div> <p>※1 基幹管路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導水管：井戸などの水源から取水した原水を浄水場まで導く管路</li> <li>・送水管：浄水場で処理された浄水を配水池まで送る管路</li> <li>・配水本管：配水池からお客様の引込み管分岐まで水道水を配る管路のうち、口径 300 mm以上の主要な管路</li> </ul> <p>※2 基幹管路の耐震管率(基幹管路のうち耐震管延長／基幹管路総延長)</p> <p>令和3年度実績 73.2km／195.1km≒37.5%</p> <p>令和4年度目標 76.3km／192.8km≒39.6%</p> <p>(令和4年度 基幹管路総延長内訳)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>令和3年度末 基幹管路総延長</td> <td style="text-align: center;">195.1km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年度末 基幹管路新設延長</td> <td style="text-align: center;">3.1km</td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和4年度末 除却延長</td> <td style="text-align: center;">5.4km</td> <td style="text-align: center;">更新に伴う廃止</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">192.8km</td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>基幹管路耐震継手部施工の様子</p> </div>	令和3年度末 基幹管路総延長	195.1km		令和4年度末 基幹管路新設延長	3.1km		令和4年度末 除却延長	5.4km	更新に伴う廃止	計	192.8km		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;">  </div> <div>  </div> </div>
令和3年度末 基幹管路総延長	195.1km												
令和4年度末 基幹管路新設延長	3.1km												
令和4年度末 除却延長	5.4km	更新に伴う廃止											
計	192.8km												

## 行動目標

## SDGs 指標

### 5 水道管路の更新と維持管理

安全でおいしい水を安定的に供給するため、更新時期を迎えた無ライニング  
铸铁管（※1）を計画的に更新します。また、水道管路の損傷及び漏水等を早期  
に発見するとともに、水資源を有効利用するため、調査や点検を定期的  
に実施します。さらに、漏水による道路陥没等の二次災害を防止する  
ため、道路管理者との連携を密にして、管路パトロールを実施します。

無ライニング铸铁管の残存延長	: 31.8km (3年度) →27.1km (4年度)
漏水調査延長	: 539.0km
仕切弁点検	: 245カ所
基幹管路パトロール	: 192.8km

※1 無ライニング铸铁管：管の内面に防食対策が施されていない铸铁管



漏水調査の様子



行動目標

SDGs 指標

6 簡易水道事業の整備推進 **DX**

簡易水道において、安全でおいしい水を安定的に供給するため、維持管理の効率化を図る統合事業とDXを活用した設備更新や老朽化した設備の更新事業を進めます。

下味見地区簡易水道統合事業（※1）	： 浄水場建屋建築工事	1 件
	： 浄水場設備設置工事	2 件
DX活用設備更新事業（※2）	： 遠方監視装置設置工事	1カ所
簡易水道設備更新事業	： 滅菌装置更新工事	1カ所

※1 下味見地区簡易水道統合事業対象町名：西河原町、東河原町、折立町、横越町

※2 企業局チャレンジみらい事業『推計で配水池水位が見える化事業』

[参考] 下味見地区簡易水道統合事業スケジュール

令和2年度	詳細設計・用地測量・地質調査・配水管布設
令和3年度	水源取水柵設置・配水管布設
令和4年度	西河原浄水場建屋建築・西河原浄水設備設置・配水管布設
令和5年度	西河原取水施設築造・西河原配水池築造・配水管布設
令和6年度	折立配水池築造・導水管布設・送水管布設・配水管布設
令和7年度	折立取水設備設置・送水管布設・配水管布設



7 簡易水道事業の水質保全

簡易水道の水質を保つため、32カ所ある簡易水道施設の配水池及びろ過池の清掃を、年度計画に基づき実施すると共に、目詰まり等による運用支障があった場合は随時清掃を行います。

簡易水道施設清掃	
配水池清掃	： 12 池
ろ過池清掃	： 4 池



配水池清掃の様子



ろ過池清掃の様子



## 行動目標

## SDGs 指標

### 8 水道施設の予防保全の推進

水道施設や設備の多くが更新時期を迎えており、安全でおいしい水を安定供給するには、適正に維持管理する必要があります。

そのため、予防保全（※）を推進し、安定給水を図ります。

#### 水道施設の予防保全

取水施設	:	取水ポンプ更新工事（九頭竜深第1・深第15水源井）
浄水施設	:	水質計器更新工事（九頭竜浄水場）
送水施設	:	次亜塩素酸ナトリウム注入設備工事（国見揚水ポンプ所）
配水施設	:	自動制御盤シーケンサ更新工事（九頭竜浄水場）

#### ※ 予防保全

機器の劣化から起きる故障や機能低下により水道水の供給ができなくなる事故を未然に防止する処置



取水ポンプを更新した時の様子



制御盤を更新した時の様子



行動目標

SDGs 指標

9 安全な水道水をお届けするための水質検査体制

本市は、水道法で定められている水質基準 51 項目全ての水質検査を緊急時にも迅速に対応できるよう職員自らが行っており、水道 GLP (※1) の認定を取得している全国でも数少ない水道事業者です。この認定によって、本市の水質検査の信頼性を確保し、安全性が担保された安心でおいしい水道水を市民の皆様にお届けします。令和 4 年度は、自己水質検査率 100%を維持するとともに、審査を受け水道 GLP の認定更新します。また、水道 GLP の認定を受けていることを積極的に PR していきます。



自己水質検査率 (※2) : 100%  
水道 GLP の認定更新

※1 水道 GLP ( Good Laboratory Practice )

「水道水質検査優良試験所規範」の略で、公益社団法人日本水道協会が定めた水質検査の品質保証の仕組みのこと。水道事業者等の水質検査部門が、管理された体制の下で適正に検査を実施し、水質検査結果の信頼性を確保するための規程で、日本水道協会が認定を行っている。4 年ごとの更新審査、中間年における認定事項の履行を確認する維持審査がある。

平成 22 年度	平成 24 年度	平成 26 年度	平成 28 年度	平成 30 年度	令和 2 年度	令和 4 年度
認定	認定維持	認定更新	認定維持	認定更新	認定維持	認定更新

※2 自己水質検査率

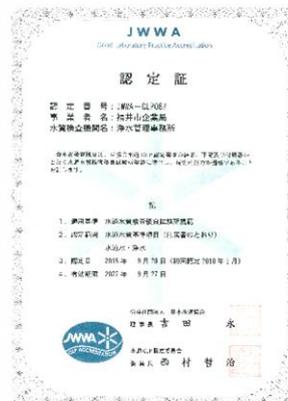
(自己水質検査項目数 / 水道法で定められた項目数)

51 項目 / 51 項目 = 100%

安全で安心な水道水を提供するために「福井市企業局水質検査計画」を毎年度策定している。その中で水質基準項目、水質管理目標設定項目などを設定し、検査している。そのうち水道法で定められた水質基準 51 項目が水道 GLP の対象となっている。



検査機器を使用している水質検査の様子



水道 GLP 認定証

組織目標Ⅲ 安全で快適な下水道サービスを提供します

行動目標

SDGs 指標

10 未普及地区における汚水処理施設の整備

衛生的で快適な生活環境の保全と水質汚濁防止を図るため、投資と財源との均衡を図りながら計画的に汚水処理施設の普及拡大を進めます。

公共下水道区域内の人口普及率（※）

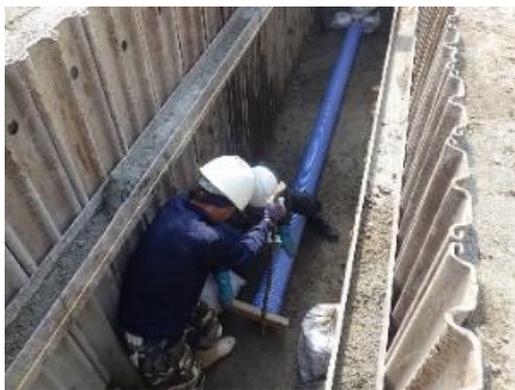
: 97.5%（3年度）→97.9%（4年度）

※ 公共下水道区域内の人口普及率

（公共下水道による汚水処理人口／公共下水道区域内人口）

令和3年度実績 229,832人／235,731人≒97.5%

令和4年度目標 231,634人／236,687人≒97.9%



下水管路布設の様子



## 行動目標

## SDGs 指標

### 11 雨水対策事業の推進 **DX**

近年、頻発化する局地的大雨等による浸水被害の軽減を図るため、浸水常襲地区における浸水対策を推進します。

前年度改定した福井市下水道雨水対策基本計画に基づき、ハード・ソフトの両面から浸水対策に取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。

また、同じく前年度改定した福井市下水道内水ハザードマップの周知のために企業局広報誌等への掲載や説明会等を行うとともに、雨水対策事業の見える化にも取り組みます。

さらに、下水道施設の浸水対策として、処理場・ポンプ場の耐水化を計画的に進めます。

流下貯留型排水施設整備（※1）	：	1施設
浸水対策施設の操作遠隔化（※2）	：	3施設
処理場・ポンプ場の耐水化		
処理場	：	水処理機械棟耐水化工事（日野川浄化センター）
ポンプ場	：	ポンプモーター室耐水化工事（大瀬ポンプ場）

#### ※1 流下貯留型排水施設整備（浸水被害軽減対策）

貯留管に貯まった雨水を連続的に排水し、少しでも早く貯留量を回復させる事によって、第2波、第3波等の連続する大雨に対応できるような施設整備を行う。（整備箇所：菅谷1丁目外）

#### ※2 浸水対策施設の遠隔操作化（水防体制強化対策）

浸水対策施設の操作を遠隔化することにより、浸水被害を未然に防止するとともに、操作時間短縮やランニングコスト低減などを図る。

（整備箇所：門前2丁目、みのり3丁目、月見5丁目）



流下貯留型排水施設の  
排水ポンプ設置の様子



耐水扉設置の様子



行動目標

SDGs 指標

12 ポンプ場の更新整備

下水道のポンプ場は、家庭や工場等から排出された汚水を下水処理場へ送水するとともに、大雨時には雨水を河川に放流する重要な施設です。これらの施設機能を維持するため、耐震基準を満たさない老朽化したポンプ場の更新整備を進めます。

特に、令和元年度から着手している加茂河原ポンプ場更新事業を着実に進めることで、5年度の供用開始を目指します。

また、足羽ポンプ場の更新については、ポンプ場更新に併せ、隣接する左内公園の再整備を行うものであり、周辺は住宅地が近接していることから、詳細設計を進めていくなかで、地区住民の方々への情報共有を図りながら、景観に配慮した公園と一体的なポンプ場デザインとなるよう取り組みます。

加茂河原ポンプ場更新事業進捗率(※1) : 39% (3年度) →70% (4年度)  
 足羽ポンプ場のデザイン調整会議(※2) : 1回

※1 事業進捗率 (工事出来高\* / 請負金額合計)

\* 工事出来高 = 各種工事の請負金額 × 各種工事の進捗率

令和3年度実績 3,563,000千円 / 9,068,718千円 ≒ 39%

令和4年度目標 6,390,000千円 / 9,068,718千円 ≒ 70%

※2 デザイン調整会議

本市の景観形成の観点から、都市空間を質の高い調和のとれたデザインとするため、各分野の専門家等で構成された第三者機関(景観デザイン調整委員会)が必要な助言を行う。

[参考] 加茂河原ポンプ場更新事業スケジュール

令和元年度	土木工事
令和2年度	土木工事
令和3年度	土木工事・機械設備工事・排水樋管工事・電気設備工事・流入管渠工事・建築工事
令和4年度	土木工事・機械設備工事・排水樋管工事・電気設備工事・流入管渠工事・建築工事・圧送管工事
令和5年度 (供用開始)	機械設備工事・排水樋管工事・電気設備工事・流入管渠工事・建築工事・圧送管工事



加茂河原ポンプ場 完成予想図



## 行動目標

## SDGs 指標

### 13 下水道施設の適切な維持管理と長寿命化への対策

下水道施設の機能を維持するため、改築及び調査・診断をストックマネジメント計画に基づき行い、下水道施設全体の長寿命化に取り組みます。

#### 下水道管路の長寿命化

下水道管の改築	： 橋北、北部排水区等	3.9 km
TVカメラ調査	： 橋南、橋北排水区	20.0 km
解析・診断	： 橋南、橋北排水区	15.0 km

#### 下水道施設の長寿命化

水処理設備	： 攪拌曝気装置更新工事（清水西部環境センター）
電気計装設備	： 薬品溶解タンクレベル計更新工事（日野川浄化センター）
ポンプ設備	： 汚水吐出弁更新工事（水越ポンプ場）



TVカメラ調査の様子



吐出弁更新の様子

## 行動目標

## SDGs 指標

### 1.4 下水道管路の耐震化

市民生活に欠かすことの出来ない重要なライフラインである下水道管路は、地震時においても下水道の機能を確保する必要があるため、耐震化を進めます。

また、全ての下水道管路施設に対し管路施設耐震診断調査（簡易診断）を行います。

④ 1.4 下水道管路の耐震化率（※1）  
： 49.9%（3年度） → 51.0%（4年度）  
管路施設耐震診断調査（簡易診断）（※2）

#### ※1 下水道管路の耐震化率

（耐震化済管路延長／下水道管路総延長）

令和3年度実績 785.7 km／1575.8 km ≒ 49.9%

令和4年度目標 817.0 km／1603.2 km ≒ 51.0%

#### ※2 管路施設耐震診断調査（簡易診断）

管路施設の簡易診断は、地震時においても下水道施設として有すべき機能を維持できるか否かを判断するため、全ての管路施設について実施します。

方法は、机上にて既存管路施設の情報や土質データ等から耐震性能を把握したうえで、定性的な診断を行い、重要な幹線等の条件を考慮し対策の優先順位を決定します。



耐震管への布設替えの様子



既設管内に新規管を設置（管更生）





